



2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月11日

上場会社名 GMOフィナンシャルゲート株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4051 URL https://gmo-fg.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)杉山 憲太郎
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 管理部長 (氏名)木村 泰彦 (TEL)03(6416)3881
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家 向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績(2019年10月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	2,834	—	416	—	400	—	238	—
2019年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 219百万円 (—%) 2019年9月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	66.43	—
2019年9月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、2019年9月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年9月期第3四半期の数値及び2020年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2020年9月期第3四半期において非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
3. 2020年2月14日付で普通株式1株につき普通株式30株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	5,159	3,263	59.1
2019年9月期	4,885	3,044	57.5

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 3,047百万円 2019年9月期 2,808百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	0.00	—		
2020年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	51.3	450	98.8	426	88.0	253	87.7	69.39

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 2020年9月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、公募株式数（240,000株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しており、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分（最大67,300株）は考慮しておりません。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年9月期3Q	3,595,170株	2019年9月期	3,595,170株
② 期末自己株式数	一株	2019年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	3,595,170株	2019年9月期3Q	一株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）1. 2020年2月14日付で普通株式1株につき普通株式30株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数（自己株式を含む）」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

2. 当社は、2019年9月期第3四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年9月期第3四半期の期中平均株式数（四半期累計）を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、第1四半期は雇用環境及び株式市場が好調な一方で、第2四半期より新型コロナウイルスの感染拡大等による、輸出入の停滞、各種イベントの中止、その他経済活動の自粛等に伴う環境の悪化に向かい、第3四半期に入ると4月には緊急事態宣言の発出による経済活動の停滞が生じました。第3四半期末時点において緊急事態宣言は解除されておりますが、日々のコロナウイルス陽性患者数は再度増加傾向に転じており、依然として先行きの見通しが困難な状況が続いております。

当社グループが属する対面決済市場においては、行政主導によるキャッシュレス化の推進及びキャッシュレス決済手段の多様化等を背景にキャッシュレス決済を導入する加盟店様が増加するとともに、withコロナにおける安全な決済手段としてのキャッシュレスも追い風として、決済利用額も増加傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループでは「決済に変革 社会を変えるNO.1 キャッシュレスプラットフォームへ」とのビジョンを掲げ、コロナ禍においても安全・安心なキャッシュレス環境を提供するべく、加盟店様のニーズに合った決済端末機器の販売及びレンタル、決済処理センターの増強、加盟店様及びアライアンス先の新規獲得等に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,834,885千円、営業利益416,469千円、経常利益400,084千円、親会社株主に帰属する四半期純利益238,834千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は4,071,284千円となり、前連結会計年度末に比べ198,531千円増加いたしました。これは現金及び預金が128,300千円減少したものの商品が302,642千円増加したこと等によるものであります。固定資産は1,088,653千円となり、前連結会計年度末に比べ76,209千円増加いたしました。これはのれんが33,328千円及び顧客関連資産が32,108千円、それぞれ償却により減少したものの、ソフトウェアが133,329千円増加したこと等によるものであります。

この結果、資産合計は5,159,938千円となり、前連結会計年度末に比べ274,741千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,830,710千円となり、前連結会計年度末に比べ71,551千円増加いたしました。これは預り金が335,844千円減少したものの、買掛金が275,479千円、未払法人税等が49,979千円及び役員賞与引当金が51,250千円、それぞれ増加したこと等によるものであります。固定負債は65,850千円となり、前連結会計年度末に比べ16,024千円減少いたしました。これは繰延税金負債が9,831千円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は1,896,560千円となり、前連結会計年度末に比べ55,527千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,263,377千円となり、前連結会計年度末に比べ219,214千円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益238,834千円の計上により利益剰余金が同額増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

サマリー情報にございますとおり、通期連結業績予想の修正を行いました。

当社の修正前の業績予想は、2020年1月に修正予算を策定したものです。当社の営業成績は、国内キャッシュレス決済市場の拡大施策等もあり、好調に推移し、2020年9月期第2四半期(2019年10月1日～2020年3月31日)の営業成績では、営業利益の実績が通期予算を超過するレベルで推移しておりましたが、一方で、コロナ禍が拡がりをみせている中、当社グループの事業が立脚する国内キャッシュレス市場に与える影響、当社業績に与える影響が不透明であることもあり、現在まで修正を実施せずに据え置いてまいりました。その内容は、2020年7月15日に公表させて頂きました「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」にございますとおりでございます。

今般、コロナ禍の影響を大きく受けた2020年9月期第3四半期の営業成績において、コロナ禍の影響が限定的なものにとどまったこと、並びに、同四半期後半にかけて回復基調を確認できたこともあり、業績予想を見直したところ、修正前予想との差異が相当程度生ずることとなり、今回の業績予想の修正に至りました。

修正後の通期連結業績予想は、売上高3,600百万円(前年同期比51.3%増)、営業利益450百万円(前年同期比98.8%増)でございますが、詳細は、本日公表しております「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該連結業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,135,493	3,007,192
売掛金	303,732	335,515
商品	165,011	467,654
その他	270,268	262,847
貸倒引当金	△1,753	△1,925
流動資産合計	3,872,752	4,071,284
固定資産		
有形固定資産	73,784	63,604
無形固定資産		
ソフトウェア	276,170	409,500
ソフトウェア仮勘定	65,600	76,027
顧客関連資産	214,054	181,946
のれん	311,068	277,740
その他	9,720	6,712
無形固定資産合計	876,615	951,926
投資その他の資産		
敷金	10,025	25,120
破産更生債権等	161	240
繰延税金資産	47,794	44,414
その他	4,224	3,587
貸倒引当金	△161	△240
投資その他の資産合計	62,044	73,121
固定資産合計	1,012,443	1,088,653
資産合計	4,885,196	5,159,938

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	179,421	454,901
未払法人税等	85,647	135,626
預り金	1,234,232	898,387
賞与引当金	85,238	57,961
役員賞与引当金	37,000	88,250
その他	137,618	195,583
流動負債合計	1,759,158	1,830,710
固定負債		
繰延税金負債	65,543	55,712
その他	16,331	10,138
固定負債合計	81,874	65,850
負債合計	1,841,033	1,896,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,173,309	1,173,309
資本剰余金	1,186,420	1,186,420
利益剰余金	448,717	687,551
株主資本合計	2,808,446	3,047,280
新株予約権	0	0
非支配株主持分	235,716	216,096
純資産合計	3,044,163	3,263,377
負債純資産合計	4,885,196	5,159,938

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,834,885
売上原価	1,537,238
売上総利益	1,297,646
販売費及び一般管理費	881,176
営業利益	416,469
営業外収益	
受取利息	101
その他	75
営業外収益合計	177
営業外費用	
支払利息	201
上場関連費用	16,358
その他	2
営業外費用合計	16,563
経常利益	400,084
特別損失	
本社移転費用	2,548
特別損失合計	2,548
税金等調整前四半期純利益	397,536
法人税、住民税及び事業税	184,773
法人税等調整額	△6,451
法人税等合計	178,321
四半期純利益	219,214
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△19,620
親会社株主に帰属する四半期純利益	238,834

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	219,214
四半期包括利益	219,214
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	238,834
非支配株主に係る四半期包括利益	△19,620

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

当社グループの事業セグメントは、対面決済処理サービス事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(公募及び第三者割当による新株式発行)

(1) 公募による新株式発行

当社は、2020年7月15日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。この株式上場にあたり、2020年6月11日及び2020年6月26日開催の取締役会において、下記の通り新株式発行及び発行金額を決議し、公募による新株式発行については、2020年7月14日に払込が完了いたしました。

① 募集方法	一般募集（ブックビルディング方式による募集）
② 払込期日	2020年7月14日（火曜日）
③ 募集株式の種類及び数	普通株式 240,000株
④ 発行価格	1株につき2,540円
⑤ 引受価額	1株につき2,336円80銭
⑥ 払込金額	1株につき2,057円 （会社法上の払込金額であり、2020年6月26日開催の取締役会において決定された金額）
⑦ 資本組入額	1株につき1,168円40銭
⑧ 発行価格の総額	609,600千円
⑨ 引受価額の総額	560,832千円
⑩ 払込金額の総額	493,680千円
⑪ 資本組入額の総額	280,416千円
⑫ 資金の使途	①決済システムの能力増強等に対応するためのシステム投資、②新規サービスの開発投資、③業務系システムの処理能力を増強するため等のシステム投資に充当する予定であります。

(2) 第三者割当増資

当社は、2020年6月11日及び6月26日開催の取締役会において、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、大和証券株式会社が当社株主より借り入れる当社普通株式の返還に必要な株式を取得させるため、同社を割当先とする第三者割当増資による新株発行を決議いたしました。

① 募集方法	第三者割当（オーバーアロットメントによる売出し）
② 募集株式の種類及び数	普通株式 67,300株
③ 割当価格	1株につき2,336円80銭
④ 払込金額	1株につき2,057円 （会社法上の払込金額であり、2020年6月26日開催の取締役会において決定された金額）
⑤ 資本組入額	1株につき1,168円40銭
⑥ 払込期日	2020年8月17日（月曜日）
⑦ 割当価格の総額	157,266千円
⑧ 払込金額の総額	138,436千円
⑨ 資本組入額の総額	78,633千円
⑩ 資金の使途	上記「(1) 公募による新株式発行 ⑫ 資金の使途」と同様であります。